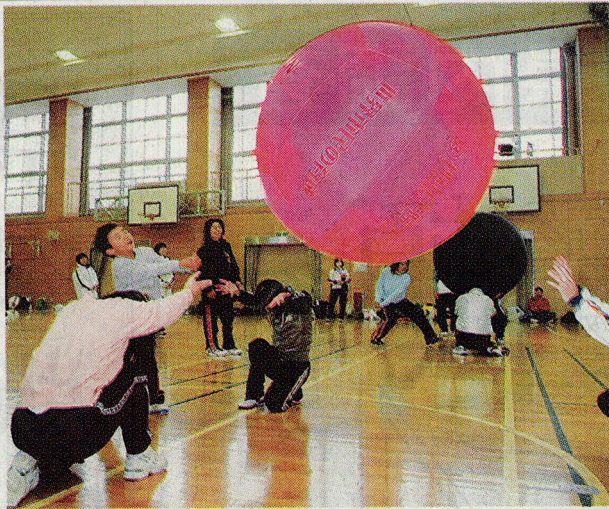


練習で子どもたちも元気がいっぱい大きなボールをヒット。稲沢市の祖父江中学体育館で



キンボール楽しいね

カナダ発祥 稲沢で講習・交流大会

カナダ・ケベック州発祥のスポーツ「キンボール」の講習会兼交流大会が二十四日、稲沢市の祖父江中学校体育館であり、九十人の愛好者らが参加した。講習会兼交流大会は日本キンボール連盟(大阪市)と稲沢KINBALLクラブが主催し県内初の開催。

キンボールは直径百二十二センチのボールを使い、三チーム(一チーム四人)で競う。ヒット役チームが、三人でボールを支え、もう一人がボールを打ち出す。打ち出す際にレシーブ(ボールを受け取る)チームを指定。名指しされたチームは四人が協力してボールを確保し、次のヒット役となる。ボールが床に落ちたり、コートから出たりすると、他の二チームに得点が入る。時間内の総得点で勝利チームが決まる。

講習会は、初心者などレベル別にルール説明、ヒットやレシーブの練習があり、不安定な動き回る大きなボールの扱いを体験。続く交流試合では、参加者はキンボールの楽しさを実感していた。

日本キンボール連盟の上山洋史事務局次長は「四人全員の協力が不可欠。チームワークの難しさがあるが、そこが面白い」と魅力を説明する。キンボールは、「稲沢KINBALLクラブ」ホームページで紹介。同クラブ代表の稲葉さん「電話0587(36)5569 (小蔵裕)